

思いやりのある生徒
確かな学力をもつ生徒
心身ともにたくましい生徒



とっだい

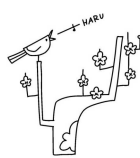
平戸市立
生月中学校

自信と誇りもて歩め

ウグイスの練習

寒波再び。白く覆われた景色は眺める分には風情がありますが、その中を登校、出勤となると大変な苦勞です。マフラーに顔をうずめ、坂道を滑らないように踏みしめて、登校する姿は遅しかったです。

校長室の外の枯れた紫陽花の大株には、日が射すと、スズメやジョウビタキなどの小鳥が遊びに来て、しきりに飛び回っています。裏山あたりでは、もうすぐウグイスの「ホーホケキョ」も聞けるでしょう。これを聞くともう春だということ。「春告鳥」と呼ばれることもあるそうです。でも、これは日本人がその「聞き做し」しているだけで、きっとウグイスはそうは鳴いていないだろうとは詩人のアーサー・ビナードさんの話。



平戸市表彰式

実際、春先の鳴き方はまだ上手ではなく、鳴いて練習するうちに上手になって「ホーホケキョ」と聞こえるようになります。ウグイスだつて最初は上手に鳴けないのです。

体育大会の準備に、少し前のめり気味に取り組んでいた3年生も、自分の道を目指し、堂々と歩んでいこうとしています。2年生も、学校の顔となる準備を着々と進め、心なしかりりしく見えてきました。1年生も、下級生を迎えるに十分な成長を見せています。今年度もあと1ヶ月ちょっと。学年のまとめの時期に入ります。今年度の活動を振り返り、個人と集団の成長と、これからの課題をしつかりと見つけてほしいと思います。

2月1日、田平町民センターで、平戸市表彰式が行われました。

生月中学校からは、3年生近藤墨心くんが、昨年4月の館浦漁港での人命救助により、市民表彰を受けました。また、スポーツ賞・個人の部では、全日本空手道連盟剛柔会全国空手道選手権大会において、中学2年生女子形で準優勝を果たした2年生渡口陽凛さんと、長崎県中学校空手道競技新人大会で団体組手優勝の生月中学校男子空手道部がそれぞれ表彰されました。



入学説明会

がありました

1月29日に、令和7年度新入生を対象に、入学説明会を開催しました。学校生活の紹介は、新生徒会にとって初仕事でしたが、スライドや動画を用いて、分かりやすく説明することができていました。生月小、山田小の6年生は、熱心に話を聞いていました。新入生は27名の予定です。中学校に兄弟がいる人もたくさんいます。先輩として手本になれるように、今のうちからしっかりと心構えをつくりましょう。

いきつきロード2025 開催

上記大会が、9日(日)、生月支所を会場に、その前の湾岸道路をコースとして開催されます。生月中学校からも1年男子の部8名、1年女子の部12名、2年生男子の部15名、2年生女子の部11名が出場します。沿道での応援よろしくお願いします。

開会式 9:00

競技開始 10:00

中学2・3年生男子(3km)	10:40
中学1年生男子(3km)	10:41
中学1年生女子(3km)	10:42
中学2・3年生女子(3km)	10:43

